

「

BELIEVE



2015  
春号  
VOL.52

」

特集 **入院前サポートセンターを開設しました**



Momoca ・制作年/2009 ・素材/水性顔料、和紙 〈エイブルアート・カンパニー所属 URL:<http://www.ableartcom.jp>〉

シリーズ **情熱の白衣 医師の素顔** ⑤ 臨床検査科部長 **圓尾 隆典**

- 食だより〈健康食品などの分類について〉／がんサポートチームからのお知らせ／お薬ミニ知識
- 外来・入院アンケート調査

**大阪赤十字病院の理念**

わたしたちは  
人道・博愛の赤十字精神に基づき  
すべての人の尊厳をまもり  
心のかよう高度の医療をめざします

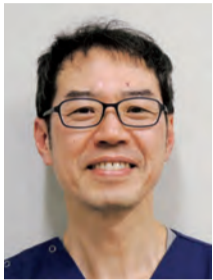
**患者さんの権利**

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



# 入院前サポートセンターを開設しました

安心・安全な入院医療の提供と、退院後の療養生活が不安なく送れるようにサポートします。



副院長 兼  
入院前サポートセンター長  
**中山 正吾**

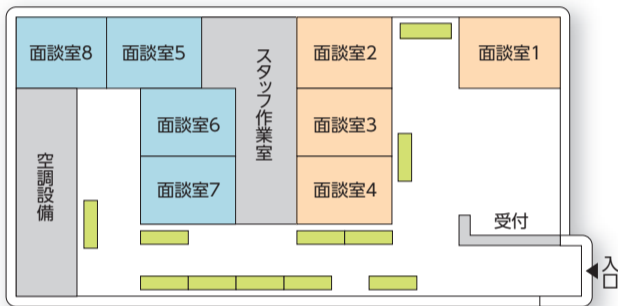
## 入院前サポートセンターの紹介

大阪赤十字病院は高度医療を提供する急性期病院として、1日に50人から80人の新規入院患者さんを受け入れています。その入院患者さんの受け入れをスムーズに行い、患者さんが安心して安全に治療を受け、快適な入院生活を送ることができるよう、平成27年4月より「入院前サポートセンター」を設置しました。

「入院前サポートセンター」の業務内容について、これから紹介いたしますが、当面は外科、消化器内科の一部の入院患者さんから利用を開始し、順次、他の診療科の患者さんにも支援を広げていく予定です。いずれはすべての入院患者さんに、入院前サポートセンターを利用していただくこととなります。入院生活はその目的が検査であっても治療であっても、いろいろな不安を伴います。「どのような準備が必要なのだろうか?」「お薬はこのまま服用しておいてもいいのか?」「手術前に何か検査があるのか?」など、心配なことがたくさんあります。そのような不安を少しでも解消し、スムーズに入院生活に入

っていただけるよう、看護師、薬剤師、事務職員が中心となってお手伝いいたします。患者さんには安心して検査、治療に専念していただければ幸いです。今後とも入院前サポートセンターをよろしく願いいたします。

▼内部フロア図



▼2F・入院前サポートセンター



▲入院前サポートセンタースタッフ



当センターには、看護師、薬剤師、事務職員などさまざまな職種を配置し、患者さんへ安心・安全な入院医療の提供と退院後の療養生活が不安なく送れるようにサポートします。

また、患者さんにとっては、必要な入院手続きや説明事項を一元所で受けられることとなりますので、利便性が向上するものと期待しています。

**受付** まずはこちらにお越しください。

主に現在飲まれているお薬・サプリメントなどの服用状況やアレルギー！副作用歴を確認します。また、検査や治療、手術の際に中止するお薬があれば、その説明を行います。さらに必要な患者さんには、当院および他院の医師から処方されているすべてのお薬やお薬手帳の持参をお願いすることがありますので、ご協力をお願いします。



**薬剤師**

主に入院から退院までの大まかなスケジュールや注意事項について、パンフレットなどを用いて具体的に説明します。また、快適な入院生活と退院後の療養生活が不安なく送れるように、必要な情報を提供します。主治医や入院病棟の看護師と連携をとり、少しでも患者さんの不安や心配ごとが解決できるようサポートします。



**看護師**

各職種の業務のご紹介

## 入院が決まりましたら、

### 入院前サポートセンターにお越しください。

入院されるまでの流れです。

- 1

外来受診

診察の結果、入院治療が必要と医師が判断した場合、患者さんには入院申込用紙が渡されます。
- ▼
- 2

入院申込

2階の「入院前サポートセンター」にお越しください。入院に関する手続き、病室の説明、入院中に必要な物品などについて、ご案内します。入院に関するご質問にもお答えします。
- ▼
- 3

看護師面談

患者さんが安心して治療を受けられるよう、入院に向けての心身の準備や入院生活について、オリエンテーションを行います。

手術を予定されている患者さんへの禁煙・体調管理・手術・必要物品などの説明も行います。

入院生活についてお聞きになりたいことがありましたら、何でもお気軽にお尋ねください。


- ▼
- 4

薬剤師面談


患者さんの持参薬（現在服用中のお薬）を確認します。お薬のなかには、服用していると手術などに影響を及ぼすものがあり、一時的に中止することが必要となる場合があります。中止するお薬や、続けて服用するお薬についてご説明するために、一度入院する前にお薬をお持ちいただき、薬剤師が確認することがあります。これは安全に治療を受けていただく上で大変重要なことですので、ぜひご協力をお願いします。
- ▼
- 5

日程調整

手術などを行う場合は、入院前に何種類かの検査を受けていただくことや、他の科を受診していただくことがあります。必要な患者さんには、事務職員が患者さんのご都合をお伺いし、日程調整して予約をお取りします。
- ▼
- 6

入院日連絡

入院日が決まった患者さんには、お電話でご連絡します。\*（入院申込みの際、既に入院日が決まっている患者さんには変更があった場合のみ連絡します。）



※月～金のみ
- ▼
- 7

入院日前日

入院日の来院時間をお電話でご連絡します。\*（入院申込みの際、既に来院時間が決まっている患者さんには変更があった場合のみ連絡します。）

※月～金のみ
- ▼
- 8

入院当日

指定された時間に、入院前サポートセンターに直接お越しください。書類などは各病棟でお預かりします。入院申込み時にお渡しした手続き書類・限度額認定証・保険証・各種医療券・診察券・印鑑等をご持参ください。

## 入院受付(申し込み・当日確認)の場所が変わります。

入院前サポートセンターの開設に伴い、入院に関わる業務は、入院前サポートセンターに移行します。そのため、入院手続き(申込み)や病棟案内のための入院当日の確認場所が「入院前サポートセンター内」に移りますので、ご了承ください。



### 面談室

プライバシーに配慮した完全個室です。静かな環境で、お話ができます。



### DVDの視聴

入院手続き後やお待ちいただく間に、入院生活についてのDVDの視聴ができます。

入院手続きと必要な書類の説明、入院生活についての説明を行います。また、入院前に受けていただく検査の日程や来院日など、予定を伺いながら調整します。入院手続きを終えて帰宅後、分からないことがあれば、ご連絡ください。当該部署への確認や主治医・薬剤師・看護師・ソーシャルワーカーなど専門的に職員が解決できるよう対応します。



### 事務職員

# 圓尾 隆典

臨床検査科部長



「縁の下の力持ち」から、「専門技術がある技師」へ。  
そんな技師たちが育つ環境をつくっていききたい。

技師それぞれの個性や強みを現場に広げることができれば。

本来は診察・内視鏡手術を行う消化器内科医。救急科では、救命救急センターに運び込まれる患者さんの差配にあたる医師でもあり、臨床検査科の部長でもある。今回は、それら3つの科を兼任する圓尾医師の臨床検査科での仕事の話を伺った。「当科は、技師が主体となって検査を行う科のため、自分が関わるのは管理の部分です。日々の検査が正しい値を出しているかを確認する精度管理や、検査各課の人員手配をしています。血液検査ひとつをとっても毎日大量の検査件数があります。その上、心電図やエコーなど、生理機能の検査も含むので、それをこなす人員の振り分けが大変ですね。」

院内では、技師が患者さんと直接関わることは少ないが、エコーなどは検査から所見を出すまでは

## TAKANORI MARUO

12月12日、大阪市生まれ。1987年に京都大学医学部卒業後、岸和田徳洲会病院、天理よろづ相談所病院で消化器内科医を務める。1999年に当院に赴任。臨床検査科部長とともに、消化器内科部副部長、救急科部副部長を兼任している。

圓尾医師が小学生のとき、「将来、なりたい仕事」として描いたのが「医者」の絵。なぜその絵だったのか、今思い返せば幼い頃によく病院に通っていたとか。そして、中学生のときに父親が病気になること、その道の後押ししたのではと言う。「若手時代は朝から晩まで診察・処置に追われてとても忙しかった」、そんな経験を積み

家でも、旅先でも、休日には愛犬と一緒。

技師が担当し、医師がそれを確認する。「検査技師とは、医師の仕事をサポートしてくれる『縁の下の力持ち』的な存在で、これまで表に出てくることはありませんでした。ですが、『顕微鏡を覗く仕事をした』という技師もいれば、『患者さんと接する仕事をした』という技師もいます。ところが、エコーには技術が必要で、生身の患者さんを診て、はじめて覚えていくもの。教える者の人的余裕がないのが現状ですね。仕事の志向がそれぞれにあるため、まずは基本的な仕事をひと通り習得して、そのなかで得意なことを伸ばしていつてもらいたいと思っています。」

圓尾医師は、これまで診察の現場では医師の視点で患者さんを診ていたのが、技師の視点でも診るようになったと言う。「臨床検査科部に入って、自分の知らない世界を教わりました。仕事を覚える教える、その方法は、医師も技師も同じです。医師に専門があるように、この検査ならこの人、あの検査ならあの人と、突出した技能を持つ技師が、医師のように診療の現場で患者さんと接する、そんな将来へ進んでいければいいですね。」



圓尾医師の愛犬、Ma vie & Aibou。石垣島北端の灯台にて。黒いライオンたちの雄姿です。

てきたからか、現在3つの科を兼任しても、「少し忙しくなったかな」とさりと答えた。プライベートでの圓尾医師は、実は愛犬家。13年ほど前にトイプードルを初めて飼い、今では2匹に。「最初、妻から話をされたときはそれとなく反対したのですが、実際に見に行くと、ダメでいるのがたまらなくかわいいです。一緒に旅行へ連れて行きますし、大事な家族ですね。」

## 看護師レポート◆52



治療、入院は病気と闘う大事な時間  
責任の持てる看護を心がけて

### 萩原 法子

患者さんが亡くなることにショックを受け、患者さんに何をすればいいのか、家族の方とどう関わればいいのか分からず、先輩の看護師に教わることが多かったです。経験を重ねて乗り越えてきて、今では治療や入院でつらい思いをする患者さんや、患者さんの家族にどういった精神的な関わりが必要か、一歩引いて考えられるようになったと思います。

呼吸器内科の患者さんは、呼吸が苦しくてしんどそうな方が多く、その状態を見ているのがつらいです。医師と相談しながら少しでも楽に過ごせるようなケアを考えて、患者さんやご家族から「ありがとう」と声をかけていただけると、よかったです。治療や入院で患者さんと接する時間は、患者さんの人生のなかで言えばほんの少しの時間だとしても、その時間は病気と闘う大事な時間です。「病気のことも治療のこともよく分からない」と不安になる患者さんに、少しでも安心してもらえるように、責任を持って対応していきたいと思っています。

休日は絵を描くこともあれば、ベースを弾いたり、戦国武将ゲームをしたり、小説を書いたりします。一人でやるようなことばかりですね。友人に誘われなければ家にもついでなので、外に出るきっかけをつくらうと通い始めたのが、ベース教室です。絵のこと、ベースのこと、小説のことを考えて、いつでも頭の中が忙しいです。そろそろ他の科で勉強を...というよりは、もう少しここの看護を極めたいです。看護の勉強にゴールはないと思います。仕事は楽しいですし、貴重な体験をさせてもらっています。一人の看護師として、頼ってもらえる存在になりたいです。



愛用のベースと、手描きのカード。カードは患者さんの誕生日にプレゼントしているそう。

当院に就職して、呼吸器内科病棟の担当になり、今年で6年目です。進路の選択時期には教師になりたいと考えていましたが、「看護師になってほしい」という祖母の言葉が看護師に決めたきっかけです。1年目は

# 食だより

## 健康食品などの分類について

栄養管理課 管理栄養士 山口 翔平

近年、「トクホ(特定保健用食品)」と言われる食品を、スーパーや薬局、またテレビなどで目にするものが多くなってきました。

薬事法で医薬品とされているものを除く「すべての飲食物」を、食品衛生法では「食品」としています。「食品」には、「疾病の予防、治療、身体の組織機能の増強、

疾病などによる栄養素の欠乏時に使用すること」などを表示することは、原則的に禁じられています。

しかし現在では一部の食品において、身体機能の維持・増進についての表示が可能となり、「食品」のなかには、「保健機能食品」と、その他の「一般食品(健康食品)」、「保健機能食品」、「栄養機能食品」と、「特定保健用食品」いわゆる「トクホ」に分類されています。

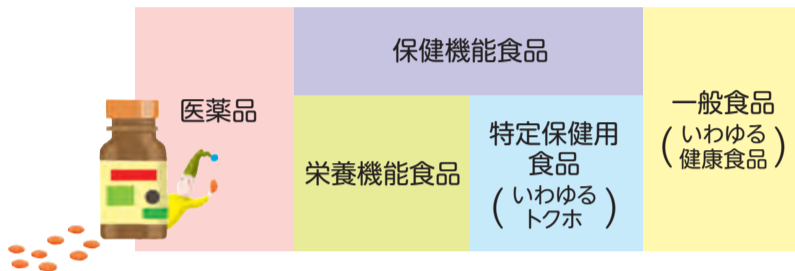
「栄養機能食品」とは、栄養成分の機能を表示して販売される食品です。栄養機能食品として販売するためには、1日当たりの摂取目安量に含まれる当該栄養成分量が、定められた上下限値の範囲内にある必要があります。したがって、規格基準に合っていない場合は表示することができません。また、栄養機能表示だけでなく、注意喚起表示なども表示する必要があります。

表示例

### 鉄

鉄は、赤血球を作るために必要な栄養素です。本品は、多量摂取により疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。1日の鉄摂取目安量を守ってください。

1日のなかで不足しがちな栄養成分について、補助的に栄養機能食品などを使用し、摂取していくことは可能ですが、「栄養機能食品」を摂取していれば大丈夫という訳ではありません。まずはバランスのよい食生活を送るよう心がけましょう。



# お薬

## ミニ知識

薬剤部 薬剤師 森田 直

## 薬と食品との相互作用

“クスリ”は反対から読むと“リスク”となり、文字どおり薬に副作用はつきものですが、正しく使うことで、その“リスク”を最小限に抑えることができます。正しい使い方のひとつに「相互作用」を避けることが挙げられます。相互作用とは、一方が他方に何らかの影響を与えることを言います。今回は、薬と食品との相互作用について紹介します。

### ●相互作用を起こす食品「グレープフルーツ」

有名なものに、血圧を下げる薬(降圧薬)とグレープフルーツがあります。皆さんもメディアなどで聞いたことがありませんか？ ただし、これは降圧薬に限った話ではなく、多くの薬がグレープフルーツと相互作用を持ちます。グレープフルーツは薬が分解されるのを妨げる作用があるため、一緒に飲んだ薬の作用が予想よりも強く出てしまうことがあります。この作用はグレープフルーツの果実だけでなく、ジュースなどでも現れますので注意してください。さらに、このグレープフルーツの作用は数日間持続するとも言われているため、厄介です。



### ●その他、相互作用を起こす食品

よく、薬を飲むときは「コップ1杯程度の水または白湯」がよいと言われます。ただし、ここにも落とし穴があります。ここで言う水とは、ミネラルが豊富に含まれている硬水ではなく、「軟水」ということに注意してください。ある種の薬には、水に含まれるミネラルとくっついて効果が弱くなってしまうものもあるのです。

その他に相互作用がある組み合わせとして、抗菌薬と乳製品、ワルファリンと納豆、パーキンソン病治療薬とチーズ、睡眠薬とアルコール、鉄剤とお茶…など、挙げればきりがありません。しかし、これらの相互作用に関しても、工夫次第で避けることができ、また専門家の管理下であればあまり問題とならないものも多くあります。

すべての医薬品と食品について相互作用を検討することは不可能であるため、100%大丈夫とはなかなか言えませんが、何か気になることがあれば医師や薬剤師にお気軽にご相談ください。

がんサポートチームからのお知らせ vol.25  
がん化学療法看護認定看護師 小袋 和子

## 外来通院治療センターの さまざまな支援

外来通院治療センターでは、年間延べ約8,000人のがん患者さんが治療を受けに来られています。抗がん剤治療を受けられる方は、病気や治療に対する思いやそれぞれ副作用を抱えながら、社会生活を送られています。当センターでは、治療中に患者さんの抱える治療上の問題や副作用などについてお聞きし、これまでの社会生活を維持しながら、治療を受けることができるようさまざまな支援を行っています。

抗がん剤治療というと、吐き気などの副作用が辛いというイメージがあると思います。ですが、現在では副作用を抑える薬の開発や新しい治療方法などにより、通院しながら治療を行うことが一般的となってきました。また、患者さんが積極的に対処を行うことによって、多くの副作用をコントロールすることが可能です。私たちは、副作用や治療に伴う生活上の困りごとなどを患者さんと一緒に考え、患者さん自身が対処できるようケアを行っています。昨年4月には当センターが移転し、薬剤師が常駐するようになりました。そのため、これまで以上に看護師や薬剤師、主治医との連携をとることができ、より早くより安全な治療に対処することができます。

当院では、治療に伴う副作用や治療上の問題に対して、専門の医療チームで取り組んでいく体制を整えています。このチームには主治医や当センターの看護師や薬剤師だけでなく、院内の各診療科の医療スタッフが関わっています。現在治療中の方やこれから治療を受ける予定の方は、治療の他にも、医療者から情報収集したり相談したりしながら、前向きに自己のがん治療と生活が送れるように取り組んでいきましょう。患者さんが安心して治療が継続できるよう、感じていることや困っていることなど、小さなことでも、看護師や薬剤師、主治医などにご相談ください。



### がん看護相談室

当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。

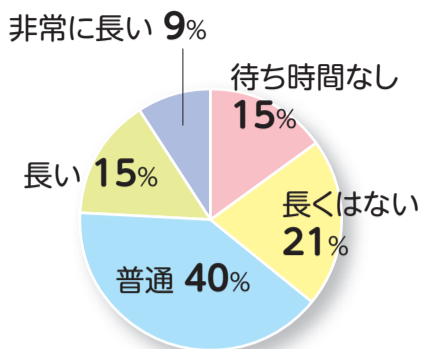
TEL:06-6774-5192 FAX:06-6774-5126  
syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

# 外来・入院 アンケート調査

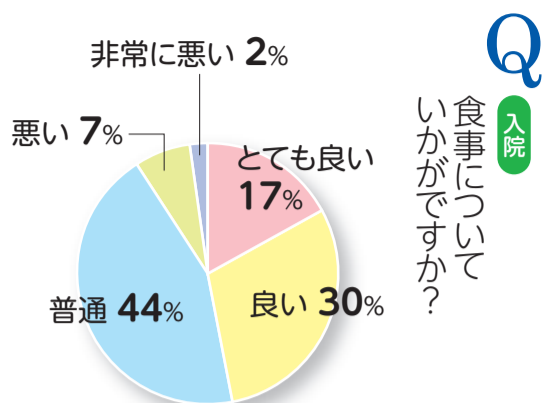
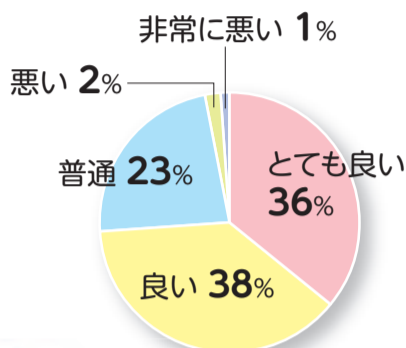
今年も外来・入院アンケート調査を行いました。外来は平成27年2月17日(火)～2月20日(金)、入院は2月17日(火)～2月27日(金)にかけて実施しました。多くの患者さんにご協力いただき、貴重なご意見が寄せられました。皆さまのご意見をもとに、ご期待に添えるよう、また「こころのかよ」高度の医療を提供していきけるよう、全力を尽くしてまいります。アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

〔調査対象〕大阪赤十字病院 通院中・入院中の患者さん  
〔調査方法〕無記名回答 外来／2階に調査用紙設置 調査期間中に来院した患者さんへ調査用紙配布、入院／各病棟スタッフステーション・デイルームに用紙を設置

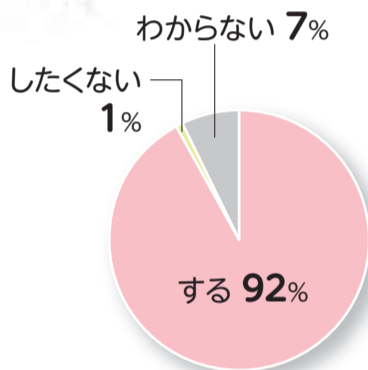
Q 外来 待ち時間はどうでしたか？



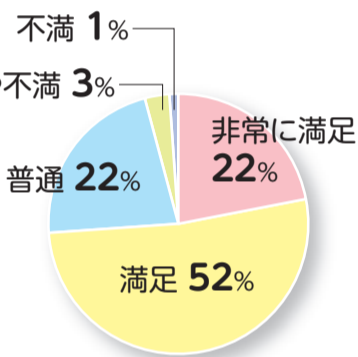
Q 総合 当院の建物・設備の快適度はどうでしたか？



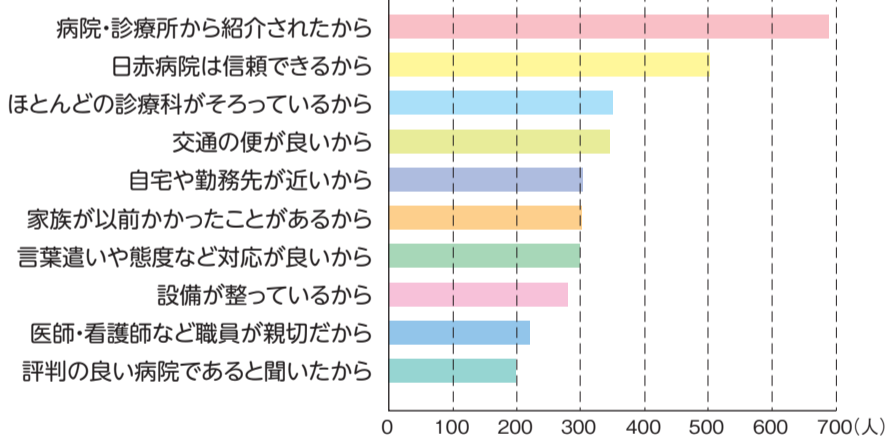
Q 総合 今後も当院を受診しようと思えますか？



Q 総合 総合的に見て、外来・入院中のサービスに満足していますか？

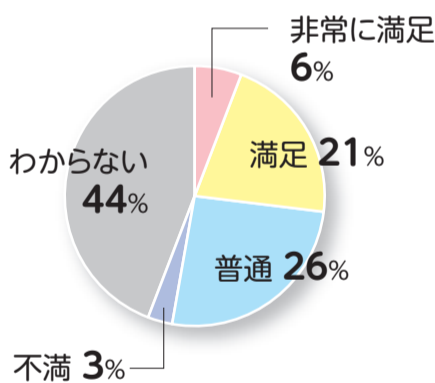


Q 総合 (上位) 当院を選ばれた理由は？



Q 総合 職員の対応についての総合評価は？

Q 総合 当院のホームページをどう思われますか？

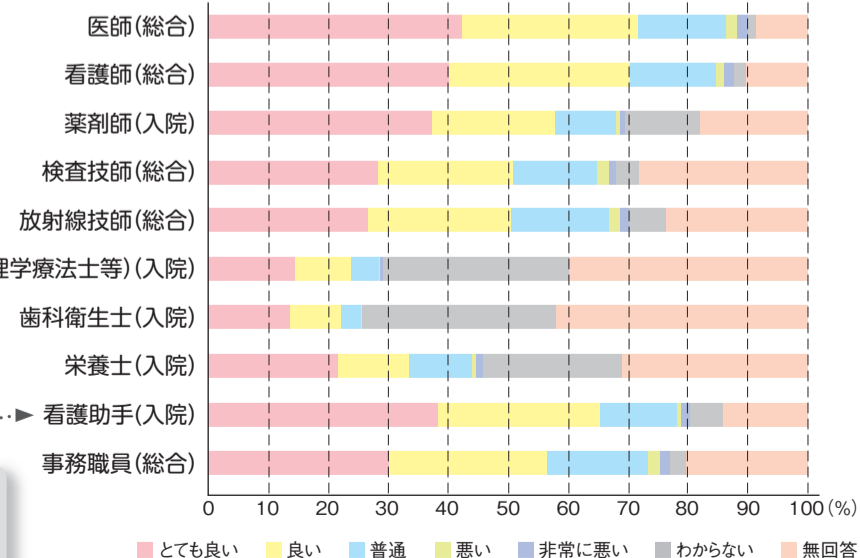


## ホームページリニューアルのお知らせ



当院ホームページが今年1月にリニューアルし、新しく見やすいデザインになりました。また、4月下旬にはスマートフォン対応サイトもオープンします。ぜひご利用ください！新しくなったホームページの詳細については、次号びりーぶ(7月発行)で紹介する予定です。

リハビリ職員(理学療法士等)(入院)



今回から入院アンケートに「看護助手」についての評価項目を追加しました。看護助手はブルーのユニフォームを着用し、主に外来では診療の補助、病棟では患者さんの身の世話をしています。

皆やまかひの「意見」

外来

**Q** かかりつけ医制度のことが分かりません。今まで病気をしなかったのに、かかりつけ医がなく、不安です。

国は現在、病院や診療所などがそれぞれ役割分担して病気の診断や治療などを行い、地域の医療機関全体で切れ目のない医療を提供する「地域完結型医療」を推進しています。「かかりつけ医」とは、身近な地域の中から、患者さんの日常的な診察や健康管理を行う診療所などのお医者さんのことです。

日常的な診察は「かかりつけ医」を受診し、高度専門的な検査、診察や入院が必要な場合は、当院に「かかりつけ医」の紹介状を持参の上、受診していただいております。

かかりつけ医をお持ちでない方は、医師または2階総合受付「かかりつけ医紹介窓口」にご相談ください。患者さんのご希望に添った「かかりつけ医」の情報、診療科などを紹介します。お気軽にご相談ください。

Q

どの診療科を受診するべきか、診察前に相談できる窓口などがあるのでしょうか。

2階総合案内にて、相談を受け付けております。当院の看護部長が午前8時30分～11時30分の間、相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

入院

**Q** 大部屋の病室で、大きな声で携帯電話をかける方がいましたが、電話は決まった場所ですらあつていいと思います。

院内での携帯電話の使用に関しては、平成26年12月より一定のルールを設けて使用制限を緩和しました。しかし大部屋の病室での通話は、禁止しています。通話などが可能なエリアについては、院内にポスターを掲示していますので、ご確認ください。多くの患者さんが入院生活を送られていますので、携帯電話の使用に限らず院内ルールの遵守にご協力お願いします。

Q

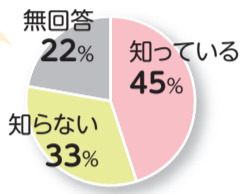
入院中の食事で、おひたしなどがおいしい味付けになっていますが、何を味付けに使っているのか知りたいです。

ご家庭で使用する一般的な調味料を病院でも使用しており、特別な調味料は使用していません。おひたしなどはポイル後、余分な水気をしっかりと切ることで、少量の調味料でも味を感じやすくなります。また、昆布や椎茸、鰹節などの上質のだしを使うと、食品本来のおいしさが生きて、薄味でもおいしく食べられるようになります。\*市販の顆粒だしやスープの素などは、塩分量が多い場合がほとんどですので、使い過ぎには注意してください。

総合

\*アンケートにご協力いただき、がん相談支援センターを利用された方からのコメント

**Q** 当院に「がん相談支援センター」があることをご存じですか？



- 薬について分かりやすい説明、治療方針でした。
- 副作用に対する説明と、対応が良かった。
- 親切でともに治していこうという気持ち伝わった。

◆がん相談支援センターとは

当院ではがん診療連携拠点病院として、当院受診の有無に関わらず、がんに関する疑問や不安、悩みに対してご相談に応じています。まず、医療ソーシャルワーカーがご相談を伺い、内容により、専門の看護師による「がん看護相談」のご予約をお取りします。

- 問い合わせ窓口／2階8番窓口「がん相談支援センター」
- 受付時間／平日8時30分～17時
- 電話／06-6774-5151
- 相談費用：方法／無料。面接／電話などによる。

お褒めの言葉をいただきました

●外来 先生に温かく声をかけられて、とても不安な気持ちや和らぎ、うれしく思いました。先生方が連携して治療してくださり、心強い思いがします。

●入院 今までに何度か入院した経験がありますが、一番居心地のいい病院に出会えました。初めての入院で戸惑っていましたが、やさしく声をかけてくださり、少しずつ不安な部分安心へと変わっていききました。

Topics Box トピックス & ニュース

Event

親と子の防災体験セミナー「災育」を開催します

今年も夏休みに小学4～6年生とその保護者を対象とした防災体験セミナー「災育」を開催します。詳細については6月中旬に当院ホームページやチラシでご案内する予定です。



昨年の防災体験セミナー実施風景

- 日時／平成27年8月2日(日)
- 場所／大阪赤十字病院敷地内
- 定員／250組(先着順)
- 申込期間／6月15日(月)～7月17日(金)〈必着〉
- 申込方法／メールかハガキに①郵便番号②住所③電話番号④生徒氏名⑤生徒年齢⑥学校名⑦保護者氏名⑧保護者年齢を記載の上、お申し込みください。
- 送付先／大阪赤十字病院 国際医療救援部 Email:imr2@osaka-med.jrc.or.jp 住所:〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30

●編集後記 毎年実施している「外来・入院アンケート調査」において、今回は広報誌「びりーぶ」の評価についてもお伺いしました。「いつも楽しみにしています」、「次号が待ち遠しいです」などのお言葉を頂戴した一方で、「文字が小さい」、「情報が少ない」といったお言葉も頂戴しました。今回寄せられたご意見をもとに、今後も皆さまにお楽しみいただけるような広報誌づくりに努めて参ります。(Y.N)

News

中出国際医療救援部長兼呼吸器外科部長が映画の医療監修に携わりました

当院の中出雅治部長が、平成27年3月14日に東宝系で公開された映画「風に立つライオン」(さだまさし原作)の医療シーンの監修に携わりました。中出部長はケニアでのロケにも同行し、主演の大沢たかおさんを始めとした俳優の方々に、テントの病棟などで医療指導を行いました。また、主演の大沢たかおさんが事前の勉強を希望され、昨年9月20日には当院の手術室に来られました。当院の手術室スタッフの協力のなか、中出部長が縫合や切断などについて説明し、実地練習が行われました。



(C) 2015「風に立つライオン」製作委員会



(C) 2015「風に立つライオン」製作委員会

ケニアロケにて

# 外来診療担当表

午前診療 午後診療

平成27年4月1日現在

	月	火	水	木	金	備考
消化器内科	津村	浅田	邊見	丹家	齋藤	すべて予約制
	松田史	山階	圓尾	福原	多木未	
	関川	丸井	大崎往	米門	佐田	
	大原	喜多	坂本梓	木村	圓尾	
	津村	浅田	邊見	丹家	齋藤	
	松田史	山階	圓尾	福原	多木未	
消化器内科(肝臓外来)	喜多	大崎往	木村	那須	西島	午後は予約制
	米光	村上	松田優	武呂	村上	すべて予約制
糖尿病・内分泌内科	武呂	武呂	米光	松田優	米光	
	(ポンプ外来 波床)	加藤	(糖尿病連携 担当医)	(糖尿病連携 担当医)	午前:波床 午後:加藤/ポンプ外来	
血液内科 (移植外来)	多田	水谷	右京	金子	右京	すべて予約制
	金子	今田	畑中	水谷	畑中	
	三谷			三谷		
	多田	水谷	右京	金子	右京	
	金子	今田	畑中	西	畑中	
		藤本		今田	高橋慧	
リウマチ・膠原病内科	片山	船越(予約)	片山(予約)	伊藤博(予約)	松尾(予約)	すべて予約制
腎臓内科	(隔週 有里・杉岡)	杉岡	古賀	土井洋	(隔週 有里・杉岡)	午後は予約制
	菅原	土井洋	菅原	古賀	菅原	
循環器内科	金沢	田中昌	伊藤晴	長央	福地	すべて予約制
	林富		稲田	田中昌	稲田	
	(第1・3・5週長央 第2・4週福地)	伊藤晴	林富	田中昌	稲田	
	金沢	田中昌	伊藤晴	長央	福地	
不整脈内科	担当医	牧田		牧田		すべて予約制
	(ペースメーカー・ICD 担当医)	牧田		牧田		
心臓血管外科		中山正(予約)	中山正(初診)		中山正(初診)	すべて予約制
		担当医	金光		吉川 (末梢血管疾患専門外来 第2週のみ) 野向 井	
小児科	住本(紹介・初診)	(リウマチ・アレルギー外来 住本)	葭井	(腎臓・アレルギー 住本)	(血液外来 藤野)	すべて予約制
	(アレルギー外来 安西)	竹川	(アレルギー外来 肥田)	(神経外来 坂本晴)	金岡	
	(重心・神経外来 奥野)	(内分・代謝外来 野村)	高野	(心臓外来 杉田)	新居	
	田尻	内藤		巽	(アレルギー外来 安西)	
小児外科	大野		大野			
消化器外科	山之口	伊藤剛	藤井雄	川田洋	中島研	
	下池	金谷	有本	有本	岡田	
	奥村	田村	三浦	赤川	福田	
					馬場園	
乳腺外科	露木	露木	仙田	露木	康	
	露木		仙田	川田有		
緩和ケア科		端			端	
整形外科	渡邊慶	富	堤	別當	鈴木隆	専門外来は予約のみ
	別當	尾藤	白	(脊椎外来 第1・3・5週渡邊 第2・4週堤)	福田亜 (股関節外来 宗)	
リハビリテーション科	好井	好井	好井	好井	大浦	すべて予約制
脳神経外科	担当医	山下	西村英	山下	金本	予約・紹介のみ
		金本		西村英	堀口	

	月	火	水	木	金	備考
神経内科	高橋牧	(隔週 柳田・梶)	(第1・3・5週梶 第2・4週高橋牧)	鈴木	峠	すべて初診のみ
	峠	篠藤	篠藤	高橋牧	中村	すべて再診のみ
	梶川	鈴木聡	午前:永井 午後:中村	永井	鈴木聡	
呼吸器内科	(喘息・COPD 外来を兼ねる 吉村千)	西坂	(喘息・COPD 外来を兼ねる 森田)	西坂	若山	※禁煙外来は 午後のみ
	(喘息・COPD 外来を兼ねる 森田)		池上	船造	(喘息・COPD 外来を兼ねる 吉村千)	
	有安		多木誠	黄	中川和	
	(禁煙外来 若山)		黄	有安	中尾	
呼吸器外科	(セカンドオピニオン外来 手術相談外来) 中出	中出	渡辺裕		川邊	
	午前:川島直 午後:邸田	徳重	吉水	午前:高松 午後:池田	安堂	
産婦人科	吉水	邸田	池田	野々垣	担当医(初診)	午後は再診のみ ※月～金曜日 助産師外来あり
	野々垣	高松	川島直	安堂	長野	
泌尿器科	西村(紹介)	光森	神田	大久保	高橋毅	
	高橋毅	飛田	光森	神田	大久保	
	河野	西村(紹介)	光森	神田	河野	
	西村一	光森	神田	(前立腺外来 大久保)		
眼科	高山	秋元	午前:秋元 午後:川島祐	田口	石井	(火・木) 再診は予約のみ 予約制 午後の専門 外来は再診のみ。初診 は、各専門外来日の 午前中に、専門医の診察 をお受けください。
	中川聡	岡本洋	田口	岡本洋	秋元	
	川島祐	山田章	午前:石井 午後:山田章	高山	午前:山田章 午後:田口	
	廣井	廣井	午前:高山 午後:廣井	廣井	午前:川島祐 午後:廣井	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	森田勲	吉松	吉松		森田勲	
	田中信	平塚	田中信		平塚	
	草野	吉田尚	山田光		草野	
皮膚科	立花	立花	八木	立花	太田	すべて予約制
	八木	入江	入江	八木	入江	
	一ノ名	太田	中島利	一ノ名	一ノ名	
形成外科	重吉	李	重吉	担当医	内藤	
精神神経科	粉	三嶋	大野	粉	本	
放射線診断科	横本	和田	土戸	亀井	和田	診断 検査(透視) 検査(CT) 検査(MRI) 検査(RI) 検査(血管造影) 検査(CT) 検査(MRI) 検査(RI)
	(初診外来 担当医)	(初診外来 担当医)	(初診外来 担当医)	(初診外来 担当医)	(初診外来 担当医)	
	藤堂	塩崎	前倉	梅岡	森	
	前倉	(外科)	塩崎	(外科)	西尾	
	森・前倉	森・梅岡	梅岡・森	小嶋・塩崎	前倉・梅岡	
	梅岡	前倉	西尾	森	矢嶋	
放射線治療科	石垣	小野	担当医	小野	石垣	
	小野	石垣		石垣	小野	
	小野	石垣		石垣	小野	
	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
歯科 口腔外科	井上洋	杉立	本橋	山田龍	担当医	すべて初診(紹介)のみ
	杉立	本橋	杉立		杉立	すべて再診(予約制)
	本橋	井上洋	井上洋	(抜歯 山田)	(抜歯 山田)	すべて紹介のみ

異動などにより変更になる場合があります。当院ホームページの各診療科のご案内をご覧ください。各料外来にお問い合わせください。

- 受付時間(月～金) 〈診療開始は午前8:45からです〉  
初診の方/月曜日～金曜日 8:30～11:30 再診の方/月曜日～金曜日 8:00～11:45
- 休診日 土曜日・日曜日・祝日・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日
- 診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 〈病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください〉  
平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00 小児病棟(平日・休診日とも)/14:00～19:00
- 保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

お問い合わせ/TEL:06-6774-5111(代表)  
〈大阪赤十字病院〉http://www.osaka-med.jrc.or.jp/  
〈赤十字全般〉http://www.jrc.or.jp/

■平成22年12月1日より  
当院は敷地内全面禁煙です

当院は平成22年12月1日より、敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解とご協力をお願いします。

